

---

# 時は戻り、伝説はいまここに

成金歩兵

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

時は戻り、伝説はいまここに

### 【Nコード】

N0064V

### 【作者名】

成金歩兵

### 【あらすじ】

七元一連が崩壊してから1500年、16歳になる青年は思いつきである洞窟に足を運ぶ、そこで彼は思いがけない光景を目にし、非日常が彼に訪れる……

後に「七元一連の次元世界」とコラボする予定です。

## 崩壊から1500年……

普通とは何だろう、日常とは何だろう

突然、非日常が訪れ、それは続けば何時しか日常となり、あれが普通となるのだろう。俺は歴史の教科書を開くたびにそう思う。

「七元一連」それは約1500年前に存在していたと言われる8つの世界の仕組みであり、世界の理であったという……それがある日突然崩壊し、その8つの世界が混ざり合ったと記されている。

世界の理が崩壊したことによって、国の違いや言葉の違いなどという多くの差があったと言う、それによって引き起こされたのは世界全てを巻き込んだ「次元国大戦記」またの名を「七元一連の終焉」そう幾つかの言葉で記されている。

その戦争は二十八年も続き、多くの人々の命と生物の生態系が崩れたと言う、当時は魔獣や聖霊、魔物といった類があったらしい、だがその生物も戦争によって失われたと言う、一説によると封印されたとも記されているが、学者はそれを鼻で笑う。だが、歴史マニアとまで言われた俺、レイド・ローラルはそうは思わない、むしろ、七元一連が崩壊する前は広大な世界があったと信じている。

そんな俺は、今日も放課後の学校の図書室で大量の歴史書と次元書それから元書と言われる七元一連が存在した時の各世界の事が記されている書を片っ端から目を通し、今は七元一連の異の世界について調べていた。

「あれ？あの人の事について何にも記載されていない……違う本かな」

授業が終了してからかれこれ2時間、とある人物について2時間調べ続けても名前すら出てこないと言う始末、次々とページをめくり、探し続けて入るが……

「なんもね……なんで名前すら出てこないんだよ、この資料ってあの人が書いた資料なのに自分の事について何にも書かれてね」

一人図書室でブツブツ言いながら調べてもまったく出てこない。

正直、次元歴学者になると言う建て前を振りかざして世界から大量の資料が置かれているこの「私立セントリナ次元学園」に入学したものの、一項に先が見えないこの現状……話によると、この学園も七元一連の異の世界に存在した学園を建て替えた学園らしく、結構ゆかりの深い所らしいのだが、まったく成果が出ない……次元歴学者になりたいと言うもの間違いではなく、次元学というものを専ら勉強中……ちなみに、次元学と言うのは、古くからある学問の一種で、世界の理を形成していたと言うものだったらしく、次元の崩壊によって七元一連も崩壊したと言われている。

俺は今、異の世界の「二国一領同盟」と言われる小さな国が手を取り合って大きな革命を起こしたと言うものに深く興味を示しており、それについて色々調べていたのだが、結果として、ノート6冊纏めたのだが、一人の人物についてが何一つ情報がなく、そこだけ抜け落ちていた。

「もう限界……」

俺は資料を閉じた……「二国一領同盟」は昔話の様な物で、皆はしようないと言っているが、調べてみると、かなりすごい事が分かったのだ。その物語はこうだ……大陸の半分以上を支配する国、ギナマドラ帝国、帝国は他国の侵略を繰り返し、多くの民を苦しめ、死に追いやった……そして帝国軍は魔族国バルマスと言われる小さな国を配下に置いた後、その隣国のユナリア国と言われる魔族国より遥かに小さな国と帝国の次に大きなグラナ王国を同時に侵略を行った。ユナリア国は必死に抵抗したものの、国王の急死によって一気に力は衰え、壊滅寸前まで追いやられた。だが、ある日の戦いの事だった、ユナリア国と帝国との戦いに一人の傭兵が現われ、その戦いをユナリア国の勝利へと導いたと言う、そしてその傭兵はユナリア国に仕え、ユナリア国はセントリナ領に協力を要請し、それに応えたセントリナ領は微力ではあったがユナリア国に協力し、帝国を退け、ユナリア国は自国の防衛に成功し、先代から友好関係に

あつた魔族国バルマス帝国より解放し、ユナリア国、魔族国バルマス、セントリナ領と言う3つの勢力による同盟が生まれ、友好的な関係と強力な団結力が生まれ、後に大陸全土を治めたと言う伝説が残されている。その伝説には多くの記録が残されている。俺がまとめたデータでは簡単にこう書かれている

ユナリア国の運命を変えた傭兵「エルド・デイスティ」

ユナリア国女王「アニア・ネールス・ユナリア」

ユナリア国騎士団長「スクレイド・レメル」

ユナリア国女王親衛隊長「レキ・イブエール」

魔族国バルマス女王「リニカ・エア・バルマス」

魔族国バルマス筆頭騎士「ディグル・モラール」

次元王「グラム・ブレイズ」

帝国を裏切った騎士「デガル・ゼナート」

魔剣を振るい戦場を駆けた「天神氷義」

などが代表的に挙げられている。他にも多くの人間が革命に参加していたようで全ての人を事細かく調べるのはかなり苦労した。

「はゝ……………あそこに行けばなんかあるかな」

俺はふとある場所を思い出し資料を片付けて図書室を後にした

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0064v/>

---

時は戻り、伝説はいまここに

2011年10月8日08時58分発行